

平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 5 - 45

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	雄武町民生児童委員協議会運営補助事業						
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		社会福祉係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	淡路 至尊		氏名	渡部 憲一	
事業の概要	民生委員・児童委員の基本理念に基づき、地域における高齢者等の生活状況の把握や相談援助指導等を行い、地域福祉の推進を担っている、雄武町民生児童委員協議会の活動の充実を図ることを目的として、運営費を補助している。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度～ 24 年度)		
					事業費	国・道支出金	千円
						地方債	千円
						その他	千円
						一般財源	265 千円
事業費計		265 千円					
実施方法	■ 直 営		民間委託		その他 ()		
第 5 期 総 合 計 画 (前期)			■ 登載事業		非登載事業		
事業の位置付け	政策目標	2 ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～					
	基本施策	10 地域福祉の推進					
	単位施策	1 福祉意識の醸成					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	53 千円	53 千円	53 千円	98 千円	53 千円	
	合 計	53 千円	53 千円	53 千円	98 千円	53 千円	

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民生児童委員協議会		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	高齢者を取り巻く環境が大きく変化する中、担当地区における課題や相談が多様化している。		運営補助金の交付		
			指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	福祉環境が大きく変化する中、新たな制度を住民が適切に利用できることが大切であり、民生委員活動を通じて援助を求める住民に対し情報提供等、身近な相談者となりえる活動を目指す。		① 交付実績	目標年度 22年度	
				目標値	53 千円
				実績値	53 千円
				達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	地域住民が安心して健康に生活することができる町及び地域福祉の向上が図られる。		②	目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①雄武町民生児童委員協議会への運営費補助	運営補助金の交付				

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	☐ 義務的なもの	高齢者を取り巻く環境が大きく変化する中、民生委員・児童委員の責務は大きくなっており、団体における運営補助金の交付は必要である。当該事業を実施しない場合、協議会における事業も縮小するため運営に支障を来し、その結果、町民の生活にも影響を及ぼす。
必要／概ね必要／課題あり	☐ 全部 ☐ 一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	地域において援助を必要とするものに対して相談、援助等を行うなど、町民サービスの一因を担っており、補助は有効である。
有効／概ね有効／課題あり	☒ 達成	
	☐ ほぼ達成 ☐ 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	民生児童委員協議会の活動は、担当地区世帯の見回りなどを実施し、生活状況の把握にも努めている。町からの補助金は、こうした経費にも充てられるが必要最小限度となるよう努めている。
	☐ 事業費抑制 ☐ 人員削減 ☐ 時間短縮・作業軽減 ☒ その他	
効率性／概ね効率性／課題あり		

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	民生児童委員の活動は全町的な活動であり、運営にかかる補助については公平と考える。
	☐ 受益者負担がある ☐ 受益者負担がない ☐ 受益が一部に偏る ☒ その他	
公平／概ね公平／公平でない		

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
行政と住民のパイプ役も担っており、雄武町民生児童委員協議会が円滑に運営されるためにも必要不可欠なものである。		

今後の展開方向 (Action)		
継続／現状維持		
民生児童委員は行政と町民のパイプ役を担っており、今後もこの活動を継続させるためには民生児童委員協議会が円滑に運営されることが重要であり、町民の生活及び福祉の向上の観点からも現状維持が適当である。		
＊展開方向の区分 ☐ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ☐ 終了 ☐ 休止 ☐ 廃止		

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--